

カナツ

ドラムブレーキ付き アルミ製運搬車

物流機器のトータルシステムメーカー、(株)カナツ(東京都千代田区外神田1-1-6) 1、電話03-3325

3-31 軽銀カート・AL 5-1、小は、プラスチックからアルミ製に進化した新しいデザインの、運ぶだけの台車から多様化を追求した地球環境に配慮した製品。インテ

表取締役社長)の製品、ドラムブレーキ付きアルミ製運搬車「軽銀カート AL600 X600-DB」がこのほどGOOD DESIGN AWARD 2018(グッドデザイン賞)を受賞した。

①お客様第一(市場優先主義) ②計画的スケ

グッドデザイン賞を受賞



ジュール励行(納期厳守) ③低価格を打ち出す努力(高いコスト意識) ④3R活動の励行(地球環境の汚染防止) ⑤法規制遵守を掲げ、事業を推進している。

記者の目

60歳以上の企業経営者のうち半数以上が廃業を考えているといわれる中、いまや事業承継問題は社会的な課題

だ。この強い危機感の下、政府は今後10年を事業承継の集中実施期間と位置付けて様々な政策を講じ、事業承継税制を抜本的に拡充した。

今、経営

ひいては日本経済全体が衰退しかねない。この危機的状況を打破するのは青年経済人の役割だ。歴史を振り返っても時代の節目で世界を変えてきたのは青年

つがあると考え、最も困難なのが家業を残すことだ。前述したように政府は事業承継を進めるために現行の税制、制度を抜本的に見直し、様々な施策を

情報 ズミル

平成は日本のコーポレートガバナンス(企業統治)が問われ続けた。日本型経営による高度成長がバブル崩壊で終わり、社外取締役重視の欧米型ガバナンスに移りつつある。企業不祥事とルール導入が繰り返された30年間だった。

1989年(平成元年)は戦後を代表する不祥事であるリクルート事件で幕が開けた。同社創業者が政財官

コーポレートガバナンス

不正と是正の狂騒曲

各界に未公開株を渡した贈収賄事件だった。が、背景にはインサイ

91年には証券会社による顧客企業への巨額損失補填(てん)が問題視された。契約なく資産を流出させたことが取締役の義務違反に

改正で、大企業には社外監査役の選任が義務付けられた。

バブルが崩壊し、97年の山一証券の経営破たん、第一勧業銀行の経営破たんや同銀行の総会屋利益供与事件など、止の重要性が叫ばれ、06、07年の会社法と金融商品取引法では不正防止のための役員責任を重くした。

複数の社外取締役を

促したのは、15年の改正会社法と上場会社に適用されたコーポレートガバナンス・コード(企業統治指針)だ。ただ、両ルールを促したオリパスの巨額損失隠し事件や後の東芝不適切会計問題では復

以下。

と比べた、金属の切粉が刺さる量です。

ゴム車輪 XRZ

